

大山寺周辺の歴史と自然

大山は一年中美しいです。春から夏にかけて高山植物が先、秋には楓や落葉樹の葉が鮮やかな色に変わります。冬には雪景色に覆われた美しい姿になります。

この地域の山岳崇拜と抱負な歴史を伴う靈氣に由来する神秘さによって、自然の景観はさらに高まります。たくさんの地蔵の彫刻が参道に沿って巡礼者を見守り、過去の著名人についての碑も並んでいます。地元の民間伝承には、一部が人間で一部が鳥の形状を持つ伝説的な生き物であるカラス天狗が大山には住んでいたなどの架空の生き物の物語もあります。

参道の終わりにある石段を登り終えると、そこに大山寺本堂が見えます。本堂の側面には、もう一つの古い石畳の道が大神山神社奥宮に続いています。深い小さな森への道をたどっていくと、地蔵の彫像や、門、拝殿、記念碑および飲料用の泉等、貴重な史跡および文化財があります。大山の豊かな靈的な歴史をこの深い小さな森の中で体験することができます。